

ITU-R SG5 第 14 回会合報告書（案）

1 会議の概要

ITU-R SG5 は移動業務、固定業務、無線測位業務、アマチュア業務及びアマチュア衛星業務を所掌している。

第 14 回会合は、2018 年 11 月 19 日（月）にスイス国ジュネーブ市の ITU 本部において開催され、35 カ国の主管庁及びその他関連機関から 125 名が参加した。日本からは表 1 に示す 10 名が出席した。

議長は M.FENTON 氏（イギリス）であり、副議長は E.H.ABDOURAMANE 氏（カメルーン）、A.AL-AMRI 氏（サウジアラビア）、S.AL-BALOOSHI 氏（ドバイ）、新 博行氏（日本）、L.BUI HA 氏（ベトナム）、A.S.CALINCIUC 氏（ルーマニア）、M.CATTANEO 氏（アルゼンチン）、C.L.COOK 女史（カナダ）、A.KADAYAN 氏（インド）、H.MAZAR 氏（フランス）、B.MBAYE 氏（セネガル）、F.I.ONAH 氏（ナイジェリア）、G.OSINGA 氏（オランダ）、B.PATTEN 氏（アメリカ）、V.POSKAKUKHIN 氏（ロシア）、D.SANOU 氏（ブルキナファソ）、W.SAYED 氏（エジプト）、S.SHAVGULIDZE 氏（グルジア）、A. SHURAKHOV 氏（ロシア）の 18 名である。

今回の会合においては、40 件の寄与文書について審議を行った。

勧告案については、表 2 に示すとおり、3 件が採択、12 件が郵便による採択・承認同時手続で合意された。また、研究課題案、及び報告案については、表 3 に示すとおり、1 件の新研究課題案、11 件の新報告案、1 件の報告改訂案が承認された。

入力文書一覧は巻末の表 4、勧告文書の採択・承認手続きの手順については巻末の図 1 のとおりである。

表1 SG5会合出席者一覧

氏名	所属
三宅 雅矩	総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室
小川 博世	（国研）情報通信研究機構
小山 敏	（一社）電波産業会
大槻 信也	日本電信電話（株）
植田 由美	（株）三菱総合研究所
川本 真紀夫	三菱電機（株）
北野 剛大	（株）NTT データ経営研究所
宮寺 好男	日本無線 株式会社
新 博行	株式会社 NTT ドコモ
加藤 康博	一般社団法人 電波産業会

表 2 SG5 会合での勧告の採択状況

	採択		郵便による採択・承認の同時 手続		通常の郵便による採択及び承認手続		決議 1-6 第 11 章に 基づく 編集上の 修正が承認された 勧告	通常 の勧 告廃 止承認手 続	解決を 求めるた め RA-19 で 審議		WP への 差戻し	
	新	改訂	新	改訂	新	改訂		廃止	新	改訂	新	改訂
WP5A	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0
WP5B	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0
WP5C	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
WP5D	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
TG5/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	2	3	9	0	0	0	0	0	0	0	0
	3		12		0				0		0	

表 3 SG5 会合での研究課題の採択、報告の承認状況

	採択された研究課題案				承認された報告案		
	新	改訂	削除	WP へ差 戻し	新	改訂	削除
WP5A	0	0	0	0	3	0	0
WP5B	1	0	0	0	3	0	0
WP5C	0	0	0	0	3	0	0
WP5D	0	0	0	0	2	1	0
TG5/1	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	0	11	1	0
	1				12		

2 審議の内容

2.1 オープニング関連

議長より、今年の活動、勧告等の完成に対する貢献への感謝と共に、今回は今会期の4回目のSG5会合で、引き続き検討を進捗させる必要があることが述べられた。

また本会合において、審議の効率化のため、審議文書に対するエディトリアルなコメントは会合中ではなくオフラインで議長、カウンセラーまで直接行うように依頼された。

本SG5会合のラポータに関して、英国より、Robert Cooper氏を指名することが提案され、異論なく合意された。

続けて、議長より前回SG5会議報告書5/90を振り返るコメントが寄せられ、意見無く承認された。

RAG24会合に関して、議長より今年前半に開催された第25回無線通信アドバイザリーグループ会議の報告書CA/239が紹介され、こちらの各自参照が促された。

2.2 WP5A (IMTを除く陸上移動業務等) 関連

(1) 概要報告

WP 5A 議長から活動概要が報告され、コメント等は無かった。

(2) 勧告

- 5/104: DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R M.1637: Global cross-border circulation of radiocommunication equipment for use in emergency and disaster relief situations
WP5A 議長 (Jose COSTA) より説明が実施され、コメント等なく PSAA 手続きに移ることが承認された。
- 5/105: DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R M.2009-1: Radio interface standards for use by public protection and disaster relief operations in accordance with Resolution 646 (Rev.WRC-15).
WP5A 議長 (Jose COSTA) より説明が実施され、コメント等なく PSAA 手続きに移ることが承認された。
- 5/120: DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R M.[ITS_FRQ]: Harmonization of frequency bands for Intelligent Transport Systems in the mobile service
WP5A 議長 (Jose COSTA) より説明が実施され、イランによるエディトリアル修正指摘 (recommends 部への should の追記) が反映された後、PSAA 手続きに移ることが承認された。
- 5/122: DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R M.1890-0: Operational radio communication objectives and requirements for advanced Intelligent Transport Systems.
WP5A 議長 (Jose COSTA) より説明が実施され、タイトル表記について、ニュージーランドよりエディトリアル修正が寄せられ反映された。同じくタイトル表記について、イランより radio communication は省略できるのではないかとの質問が寄せられた。タイトルは短い方が好ましく、radio communication は本文に入れてあればよいとのコメントであったが、SG5 議長の意見及び米国からの WP 5A での ITS の検討は無線以外の部分も行っているが本勧告は無線に関するものにフォーカスしているので、radio communication を含めた方が明確性が増す、既に

WP5A で十分に検討されてきた点なので、このままにしておく方が好ましいとの意見があり、radio communication の省略はされなかった。
上記の議論の後、PSAA 手続きに移ることが承認された。

(3) 報告

- 5/111: DRAFT NEW REPORT ITU-R M.[RSTT.USAGE]: Current and future usage of railway radio communication systems between train and trackside (RSTT)
SG5 議長よりこちらの文章は資料ページが膨大でページ毎に確認することはこの場では出来ないことが伝えられ、一括して確認が求められ、コメント等なく承認された。
- 5/121: DRAFT NEW REPORT ITU-R M.[ITS_ARR]: Examples of Arrangements for Intelligent Transport Systems deployments under the mobile service
WP5A 議長 (Jose COSTA) より説明が実施され、コメント等なく承認された
- 5/123: DRAFT NEW REPORT ITU-R M.[ITS USAGE]: Intelligent transport systems (ITS) usage
WP5A 議長 (Jose COSTA) より説明が実施され、タイトル表記についてイランより修正の提案がされた。ITS は Member States 以外にも使用され、こちらのレポートを参照される、よって in ITU Member States の記載は削除するべきとの提案であり、こちらの変更は承諾されてタイトル変更した後、承認された。

2.3 WP5B (海上移動業務、航空移動業務及び無線測位業務) 関連

(1) 概要報告

WP 5B 議長より、活動概要が報告され、以下の議論があった。

- ✓ フランスより、WP 5B 議長報告 (5/87) の 2.1.4 章において、WRC 議題 1.9 課題 1.9.1 と記載の箇所は、1.9.2 の間違いであると述べられ、WP 5B 議長が修正することとなった。
- ✓ イランより、「Plenipotentiary Conference に参加しなけりばならなかつたため、先週まで行われていた WP 5B 会合には参加できなかつたが、イランから入力文書を提出しており、本寄与文書は UAS (Unmanned Aircraft Systems) 関連の議論の際に考慮されるべきである。本寄与文書でも言及しているが、生命の安全に関わる業務に使つて良いかどうかという点を除き、UAS は ESIM (Earth Station in Motion) とほぼ同様のものであり、UAS の議論では ESIM 関連議題である WRC-19 議題 1.5 の審議結果を参考にすべきである。同議題の検討内容は CPM 19-2 (The second session of the 2019 Conference Preparatory Meeting) で議論される予定であるため、CPM 19-2 の結果を踏まえ、次回の WP 5B 会合では継続的に UAS に関する議論を進めていきたい。また、特に PFD 制限値は地上業務を保護するために十分な保護基準とは言えないという点を懸念している。次回 WP 5B 会合でイランの入力文書と上記保護基準について継続的に議論をする必要がある旨を SG 5 会合の議事録にて言及してほしい。」と述べられた。それに対して、WP 5B 議長より、「今回 WP 5B 会合の議論において、イランの入力文書の内容は考慮されており、次回 WP 5B 会合にもキャリアフォワードしている。」と述べられ、さらに議長からも「イランの上記懸念点について、議事録に言及するようにする。」と述べられた。
- ✓ さらに WP 5B 議長より、「WRC 議題 1.9 課題 1.9.2 の CPM 文書についての CPM マネジメントチームからの質問については、回答を上記 WP 5B 議長報告に記載したため、主管庁は考慮に入れてほしい。」と述べられた。

(2) 勧告

- 5/108 ITU-R 改定勧告案 M.1462-0 - Characteristics of and protection criteria for radars operating in the radiolocation service in the frequency range 420-450 MHz
WP 5B 議長より本文書の紹介がされるとともに、IPR (Intellectual Property Right) 懸念事項は無い旨が述べられた。本文書はページごとに審議され、特段の質疑なく、PSAA (Procedure for Simultaneous Adoption and Approval) による同時採択・承認プロセスを進めることとした。
 - ✓ イランより、「改定勧告案や新勧告案において、序文部分が長すぎるものがあるため、できるだけ余計な情報は入れないようにしてほしい。この改定勧告案は序文部分の削除を提案しており、良い例である。これに限らず、全ての勧告案について、そのようにすべき。」と述べられた。
- 5/109 ITU-R 改定勧告案 M.1849-1 - Technical and operational aspects of ground-based meteorological radars
WP 5B 議長より本文書の紹介がされるとともに、IPR 懸念事項は無い旨、述べられた。本文書はページごとに審議され、特段の質疑なく、エディトリアル修正を施し（米国より、Annex 1 の Table 4 の Stratiform のミススペルの指摘）PSAA による同時採択・承認プロセスを進めることとした。
 - ✓ イランより、「序文部分において、recognizing は勧告案の序文部分の最後の部分(recommends部の直前に)にくるべきである。今後気を付けてほしい。」と述べられたが、WP 5B 議長からは、ITU-R のウェブサイトにある勧告の様式 (<https://www.itu.int/oth/R0A0E000097>) では、recognizing 部は noting 部の直前に配置する様式になっていると返答があった。
- 5/110 ITU-R 新勧告案 M.[AMS_21.2-22 GHz] - Technical characteristics and protection criteria for aeronautical mobile systems operating in the mobile service in the frequency range 21.2-22 G
WP 5B 議長より本文書の紹介がされるとともに、IPR 懸念事項は無い旨、述べられた。本文書はページごとに審議され、特段の質疑なく、PSAA による同時採択・承認プロセスを進めることとした。
- 5/112 ITU-R 改定勧告案 M.493-14 - Digital selective-calling system for use in the maritime mobile service
WP 5B 議長より本文書の紹介がされるとともに、IPR 懸念事項は無い旨、述べられた。本文書はページごとに審議され、特段の質疑なく、PSAA による同時採択・承認プロセスを進めることとした。
- 5/113 ITU-R 改定勧告案 M.2010 - Characteristics of a digital system, named Navigational Data for broadcasting maritime safety and security related information from shore-to-ship in the 500 kHz band
WP 5B 議長より本文書の紹介がされるとともに、IPR 懸念事項は無い旨、述べられた。本文書はページごとに審議され、特段の質疑なく、PSAA による同時採択・承認プロセスを進めることとした。
- 5/126 ITU-R 新勧告案 M.[AMT-CHAR-5GHZ] - Technical and operational characteristics for aeronautical mobile service systems limited to aircraft transmissions of aeronautical mobile telemetry for flight testing in the band 5 150-5 250 MHz in Region 1 and in Brazil in accordance with RR No. 5.446C
WP 5B 議長より本文書の紹介がされるとともに、IPR 懸念事項は無い旨、述べられた。本文書はページごとに審議され、特段の質疑なく、PSAA による同時採択・承認プロセスを進めることとした。

承認プロセスを進めることとした。

(3) 報告

- 5/114 ITU-R 新報告案 M.[NAVDAT-GUIDELINES] - NAVDAT Guidelines
WP 5B 議長より本文書の紹介がされた。本文書は文書一括で審議され、特段の質疑なく、承認された。
- 5/118 ITU-R 新報告案 M.[VDE-SAT] - Technical studies on the satellite component of the VHF data exchange system
WP 5B 議長より本文書の紹介がされた。本文書は下記の議論を経て審議され、ロシアが声明文を用意することで承認された。
 - ✓ WP 5B 議長より、本文書の紹介に当たって、「本文書についてはロシアが疑義があることを述べており、合意に達するまで長い時間を要し、ロシアの意見を本文書の最初に載せることで、WP 5B では合意した。」と述べられた。
 - ✓ ロシアより「特に固定業務と移動業務の保護について述べた、6 章に対して、反対意見がある。本章は VDE-SAT から固定業務と移動業務を保護するためのマスクについての、それぞれ違う検討（固定業務については 2 つ、移動業務については 3 つ）が載っている。本文書は CPM 文書から参照される報告案とはいえ、まだそのための完成期限までには時間があるため、1 つの合意した方法にすべきである。WP 5A と WP 5C も本件について検討してほしい。」と述べられたが、議長が「WP 5B にて、長い間議論してきたが、さらに議論を行っても合意できるとは思えない。」と述べ、さらにフランスが、「私は本検討を行うグループの議長を 3 年間務めてきた。ロシアの見解や検討も本文書の中で十分述べられている。WP 5A と WP 5C にもリエゾン文書にて意見交換を今までも行ってきた。議論はし尽くされている。衛星は既に打ち上がっており、問題なく運用されている。本文書には多くの検討結果等が載っており、CPM 文書の議題を解決する方法をサポートするためのものである。ロシアはロシアの声明文を本文書に載せ、本文書は承認されるべきである。」と述べた。（ノルウェー、ドイツ、日本がサポートを表明）
 - ✓ 米国、イランより、「決議 1-7 の A2.7.2 によれば、報告案の反対については、それら主管庁の意見を文書案とサマリーレコード（SG 5 会合の議事録）に載せることで、文書案を承認することができることが規定されている。」と述べられたが、イランはさらに、「ITU-R の文書の承認という観点からは、全主管庁は合意のための努力をし尽くすことが肝要である。」とも述べた。
 - ✓ ロシアはさらに、「Table 36 と 37 に、“ship elevation angle”という言葉が使われているが、ふさわしくない。」と述べ、それについては、議長と WP 5B 議長がオフラインで修正することとなった。
- 5/127 ITU-R 新報告案 ITU-R M.[GADSS] - The global aeronautical distress and safety system
WP 5B 議長より本文書の紹介がされた。本文書は文書一括で審議され、以下の修正を経て、承認された。
 - ✓ イランから、「どの RR 規則によるものが明確に記載されていない。」との指摘により、3 章に以下の修正を施すべきと述べられた。

“Studies within ICAO in preparation for WRC-19 have determined that the GADSS requirements can be satisfied using existing systems operating within existing aeronautical frequency allocations and distress spectrum (e.g. 406.1 MHz) ~~in accordance with the provisions of the RR.~~”

(4) 研究課題

- 5/119 ITU-R 新研究課題案 ITU-R [FOD_COMPAT]/5 - Coexistence analysis between foreign object debris detection systems operating in the frequency range 92 to 100 GHz and earth exploration satellite service sensors in-band and in adjacent bands

WP 5B 議長より本文書の紹介がされた。本文書はページごとに審議され、以下の修正を経て採択され、郵便投票による承認手続きにかけられることとなった。

- ✓ イランからの、「特定の検討とすべきではない。」との指摘により、序文の further decides 2 に以下の修正が施された。

“that ~~the coexistence~~ studies should also be included in an ITU-R Report;

(4) その他

WP 5B 議長より、各参加者や WG・DG 議長への謝辞が述べられた。議長から WP 5B 議長へも謝辞が述べられた。

2.4 WP5C（固定業務及び短波帯の固定・移動業務）関連

(1) 概要報告

WP 5C 議長より 5/124 に従い WP5C の活動報告が実施された。WP5C の体制は昨年の報告時から変更ないこと、今回の SG5 会合に対して、7 件の文書入力(1 件の新勧告案、3 件の勧告改訂案、3 件の新報告案)を上程されていること、現在 WP5C に割り当てられた研究課題について 2019 年 SG5 会合に報告するための検討を実施していることが報告された。

(2) 勧告

- 5/93 ITU-R 改訂勧告案 F.1105-3 「災害緩和および救援運用における固定無線システム」 Draft revision of Recommendation ITU-R F.1105-3, “Fixed wireless systems for disaster mitigation and relief operations”

WP 5C 議長より改訂内容の簡単な説明がなされた。

イランより勧告の recommends 部の記載について、本勧告では should be ... という表現が使われているが、should の表現を使うかは勧告の性質により、適宜使い分けが必要である、というコメントがなされたが、それ以外は特段のコメントはなかった。

議長より IPR に関する懸念事項がないことを確認し PSAA を適用することが述べられたが、日本より本勧告案は 4 週間以上前に入力されており本 SG5 会合において採択できるのではないかと、というコメントがあり、本会合で採択し引き続き承認に向けた郵便投票にかけることが合意された。

- 5/94 ITU-R 新勧告案 F.[HF-SHARE] 「1.5-30MHz 帯での固定および陸上移動業務に関する共用・両立性検討用技術パラメータおよび手法についてのガイダンス」 Draft new Recommendation ITU-R F.[HF-SHARE], “Guidance on technical parameters and methodologies for sharing and compatibility studies related to fixed and land mobile services in the frequency range 1.5-30 MHz”

WP 5C 議長より内容の簡単な説明がなされた。

イランより、本勧告はタイトルと recommends 部の双方に”guidance”と記載されており一貫性があるが、他 WP で作業中の勧告改訂の議論で、この記載の一貫性を行うことについて反対意見があったことが示され、このような一貫性を保って勧告作成を行うことを各 WP にガイダンスすべきとのコメントがされたが、本勧告案に対する特段のコメントはなかった。

IPR に関する懸念事項がないことを確認し、議長より本文書は本会合の開催 4 週間より前に利用可能であり本会合で採択することが可能であることが述べられた後、本会合で採択し引き続き承認に向けた郵便投票にかけることが合意された。

- 5/106 ITU-R 改訂勧告案 F.1336-4 「400MHz-70GHz での共用検討に利用される固定および移動業務向けオムニ、セクターおよびその他アンテナの参照放射パターン」 Draft revision of Recommendation ITU-R F.1336-4, “Reference radiation patterns of omnidirectional, sectoral and other antennas for the fixed and mobile services for use in sharing studies in the frequency range from 400 MHz to about 70 GHz”

WP 5C 議長より改訂勧告案は WP5A および WP5C からの入力であるが、WP5C から説明することが合意されていること、大部分の作業は WP5C で実施されていることが説明された後、改訂内容の簡単な説明がなされた。

イランより scope 部に coordination study という記載があるが内容が不明確である、とのコメントがあり、scope 部から coordination study という単語を削除することが合意された。また、勧告の他の部分にある同単語を削除することが合意された。

イランより scope 部に “will be used” という語句が利用されているが、決定的な表現であるため should be used を使うべきであるとのコメントがされ修正することが合意された。

上記の議論を経て、修正を行った上で、IPR に関する懸念事項がないことを確認し、PSAA による同時採択・承認手続きを適用することが合意された。

- 5/107 ITU-R 改訂勧告案 F.1245-2 「1-70GHz でのコーディネーション検討および干渉評価に利用する見通し内 point-to-point 固定無線システムアンテナ用平均放射パターンの数式モデル」 Draft revision of Recommendation F.1245-2 “Mathematical model of average and related radiation patterns for line-of-sight point-to-point fixed wireless system antennas for use in certain coordination studies and interference assessment in the frequency range from 1 GHz to about 70 GHz.”

WP 5C 議長より改訂内容の簡単な説明がなされた。

イランより 5/106 と同様に coordination study を削除する提案があり合意された。

イランより recommends 部 2 の should be adopted を should be used に修正する提案があり、合意された。

上記の議論を経て、修正を行った上で、IPR に関する懸念事項がないことを確認し、PSAA による同時採択・承認手続きを適用することが合意された。

(3) 報告

WP5C議長より報告案の説明に先立ち、報告案はHAPSに関係するものであり、全部で8つの報告を作成していること、これらの報告案のうち一般的な事項を記載した報告は5/116および5/117の2件であること、残りの6件の報告は共用検討であり本会合で説明をする1件の報告(5/115)を除く5件の報告は現在議論中であることが説明された。

なお、WP5C議長の希望により説明は5/116、5/117、5/115の順番で行われた。

- 5/115 ITU-R新報告案F.[HAPS-6GHz]「6440-6520MHzでの固定業務におけるHAPSシステムの共用および両立性検討」Draft new Report ITU-R F.[HAPS-6GHz]“Sharing and compatibility studies of HAPS systems in the fixed service for the frequency band 6 440-6 520 MHz”

WP 5C議長より新報告案の簡単な説明がなされた。特段の質疑・コメントなく承認。

- 5/116 ITU-R新報告案 F.[HAPS-SPECTRUM-NEEDS]「固定業務で運用するHAPSブロードバンドリンクのスペクトラニーズ」Draft new Report ITU-R F.[HAPS-SPECTRUM-NEEDS], “Spectrum needs of high altitude platform stations (HAPS) broadband links operating in the fixed service”

WP 5C議長より新報告案の簡単な説明がなされた。特段の質疑・コメントなく承認。

- 5/117 ITU-R新報告案 F.[BROADBAND HAPS CHARACTERISTICS]「共用および両立性検討で用いられる6 440-6 520 MHz, 21.4 22.0 GHz, 24.25-27.5 GHz, 27.9-28.2 GHz, 31.0-31.3 GHz, 38.0 39.5 GHz, 47.2-47.5 GHz および 47.9-48.2 GHz での固定業務におけるブロードバンドHAPSの配置および技術特性」Draft new Report ITU-R F.[HAPS-SPECTRUM-NEEDS], “Deployment and technical characteristics of broadband high altitude platform stations in the fixed service in the frequency bands 6 440-6 520 MHz, 21.4 22.0 GHz, 24.25-27.5 GHz, 27.9-28.2 GHz, 31.0-31.3 GHz, 38.0 39.5 GHz, 47.2-47.5 GHz and 47.9-48.2 GHz used in sharing and compatibility studies”

WP 5C議長より新報告案の簡単な説明がなされた。特段の質疑・コメントなく承認。

2.5 WP5D (IMT) 関連

(1) 概要報告

WP 5D議長から活動概要が報告され、2018年に開催されたWP 5D会合（第29,30,31回）の主な活動状況、2019年開催予定のIMT-2020 workshopの内容、今後の作業計画等が報告された。合わせて、周波数関連に関して、同じ議論が繰り返されており今後2019年9月のSG5に向けて更なる歩み寄りが必要であることの指摘がなされた。

(2) 勧告

- 5/98 勧告M.1457-13改訂案

Detailed specifications of the terrestrial radio interfaces of International Mobile Telecommunications-2000 (IMT-2000)

米国より、冒頭に記載されている中国の脚注に関して、この更新でも有効なのかとの質問がなされ、5D議長から5D会合においては特に議論はされていないとの説明がなされた。米国からは本脚注の扱いについて将来の改訂で検討すべき、本改訂とは直接関係しないということは明確化すべきでは、とコメントされた。中国から、将来の更新時に見直しを検討するとの発言がなされた。SG5議長が、オフラインでWP 5D議長及び中国と脚注の表現について議論をしたいとコメントされた。他には質疑なく、採択することで合意された。

(3) 報告

- 5/99 新報告案M.[IMT.MTC]

The use of the terrestrial component of International Mobile Telecommunications (IMT) for Narrowband and Broadband Machine-Type Communications

特段コメント無く、承認された。

- 5/100 報告M.2373-0改訂案

Audio-visual capabilities and applications supported by terrestrial IMT systems

特段コメント無く、承認された。

- 5/101 新報告案M.[IMT.USAGE]

Emerging usage of the terrestrial component of International Mobile Telecommunication (IMT)

イランより、承認すること自体に問題はないが、この文書の目的が理解できないとの指摘がなされた。5D議長より、IMTは音声通話から始まり高速大容量モバイル通信に進化してきており、今はITS, PPDR等で使われようとしている状況で、この文書の目的はこれらの今後の多岐に渡るユースケースをまとめたものであるとの説明がなされた。

更にイランより、スコープ以外は合意するとし、スコープについて様々なユースケースを取りまとめたものであるとの主旨を明記することが提案された。5D議長からは特に問題なくドラフトを行うとの発言がなされ、他の議題を完了後、再度確認することとなった。スコープ部分以外は問題ないことを確認した。

また、イランから、5D活動全体に関するコメントとして、勧告に対して recommend partとタイトルとスコープに首尾一貫性をもたせるべきとの要望が出された。具体的には、勧告M.1036の改訂に関わる議論で、本件に関連するnoteの記載があり、削除／維持／修正の検討が必要であり、現実的には修正に向けて協力が必要との意見が示された。WP 5D議長からは、イランの懸念は、前回のWP 5D議長報告のChapter 1に記載があるので、参照をしてほしい旨の説明があった。

他の議題終了後、5D議長がドラフトしたテキストが紹介され、軽微な修正な上、下記内容で合意した。

This Report is a compilation document on existing and new usage of IMT in specific applications. Further, it introduces potential newly emerging applications of IMT in areas beyond traditional voice, data and entertainment type communications. It is provided as a reference document on these important uses of IMT, as envisaged in the vision for IMT-2020.

2.6 TG 5/1 関連

TG5/1議長から、今年の活動及び全活動が終了したことが報告された。イランから、CPMテキストにはたくさんのオプションが記載されておりこのままではWRCでの審議が難しいため、CPM19-2でオプションを減らす努力をするべきとの意見が出され、議長からも同じ見解であり最小化する努力が求められた。

TG5/1議長からTG5/1の活動は終了しているが、この会合で解散という扱いにするのか、今会期の終了まで維持するののかについて明確化の質問がなされた。イランから、CPM会合もこれからであり、TG5/1議長へのアドバイスを求めることもあることを考えると、この会合で解散を決めるべきではないとの意見が出された。議長から、実質活動は終了しているが、正式な判断は次回行うとの見解が示された。

2.7 その他全体に関わる事項

(1) 他の SG からのリエゾン等

下記のリエゾン等に関しては、特に質疑は無く、全てノートされた。

- 5/91: RECOMMENDATION ITU-R S.2112-0: Guidelines to conduct bilateral coordination for explicit agreements, in the frequency band 14.5-14.75 GHz for Regions 1 and 2 countries, or in the frequency band 14.5-14.8 GHz for Region 3 countries, in the fixed-satellite service (Earth-to-space) not for feeder links for the broadcasting-satellite service, in order to protect all existing and planned systems of allocated services in 14.5-14.8 GHz in the territories of those administrations engaging in such agreements
- 5/92: QUESTION ITU-R 140-1/6: Global platform for the broadcasting service
- 5/96: Standardization Committee for Vocabulary: Liaison Statement on new terms and definitions in ITU-T SG20 work
- 5/97: Standardization Committee for Vocabulary (SCV): Liaison Statement on new ITU-T SG2 terms and definitions

(2) 他団体からのリエゾン等

下記のリエゾンに関して、特に質疑は無く、全てノートされた。

- 5/95: LIAISON STATEMENT TO TSAG, ITU-T SGs 2, 5, 9, 12, 13, 15, 16, 17, 20 and the RAG ITU inter-Sector coordination: WPs 5A, 5B and 5C versus ITU-T Questions

(3) 第二回 ITU 地域間 WRC-19 準備ワークショップについて

議長より、2018年11月20日より22日まで行われる予定であることが伝えられた。

2.8 クロージング関連

(1) 今後の予定

事務局より今後の会合予定（以下に掲載）が共有された。イランより、会合の重複を避けるように調整することが事務局に要望された。議長より事務局によって、本 SG はかなり事前の段階から出来る限り重複はしないようにスケジュール組みを行っている旨が述べられた。

Dates		Meeting	Remarks
11 Feb 2019	15 Feb 2019	WP 5D	Planned
29 Apr 2019	10 May 2019	WP 5A, WP 5B, WP 5C	Planned
9 Jul 2019	17 Jul 2019	WP 5D	Planned
2 Sep 2019	3 Sep 2019	SG 5	Planned

(2) その他

ロシアよりロシア代表 SG5 副議長の交代が告げられ、Vadim Poskakukhi 氏から Alexi

Shukarov 氏に交代することが承認された。

以上

表 4 SG5 入力文書一覧

文書番号	提出元	タイトル
[90]	Chairman, SG 5	Summary Record of the meeting of Study Group 5 (Geneva, 20 November 2017)
[91]	SG 4	Recommendation ITU-R S.2112-0 - Guideline to conduct bilateral coordination for explicit agreements, in the frequency band 14.5-14.75 GHz for Regions 1 and 2 countries, or in the fixed-satellite service (Earth-to-space) not for feeder links for the broadcastings-satellite service, in order to protect all existing and planned systems of allocated services in 14.5-14.8 GHz...
[92]	SG 6	Question ITU-R 140-1/6 (brought to the attention of SGs 4 & 5) - Global platform for the broadcasting service
[93]	WP 5C	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1105-3 - Fixed wireless systems for disaster mitigation and relief operations
[94]	WP 5C	Draft new Recommendation ITU-R F.[HF-SHARE] - Guidance on technical parameters and methodologies for sharing and compatibility studies related to fixed and land mobile services in the frequency range 1.5-30 MHz
[95]	WPs 5A, 5B and 5C	Liaison statement to TSAG, ITU-T SGs 2, 5, 9, 12, 13, 15, 16, 17, 20 and the Radiocommunication Advisory Group - ITU- inter-Sector coordination: WPs 5A, 5B and 5C versus ITU-T Questions
[96]	SCV	Liaison statement on new terms and definitions in ITU-T Study Group 20 work
[97]	SCV	Liaison statement on new ITU-T SG2 terms and definitions
[98]	WP 5D	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1457-13 - Detailed specifications of the terrestrial radio interfaces of International Mobile Telecommunications-2000 (IMT-2000)
[99]	WP 5D	Draft new Report ITU-R M.[IMT.MTC] - The use of the terrestrial component of International Mobile Telecommunications (IMT) for Narrowband and Broadband Machine-Type Communications
[100]	WP 5D	Draft revision of Report ITU-R M.2373-0 - Audio-visual capabilities and applications supported by terrestrial IMT systems
[101]	WP 5D	Draft new Report ITU-R M.[IMT.USAGE] - Emerging usage of the terrestrial component of International Mobile Telecommunication (IMT)
[102]	Chairman, WP 5D	Executive Report from Working Party 5D
[103]	Chairman, TG 5/1	Executive Report of Task Group 5/1
[104]	WP 5A	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1637 - Global cross-border circulation of radiocommunication equipment for use in emergency and disaster relief situations

文書番号	提出元	タイトル
[105]	WP 5A	Draft revision of Recommendation ITU-R M.2009-1 - Radio interface standards for use by public protection and disaster relief operations in accordance with Resolution 646 (Rev.WRC-1215)
[106]	WP 5A and WP 5C	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1336-4 - Reference radiation patterns of omnidirectional, sectoral and other antennas for the fixed and mobile services for use in sharing studies in the frequency range from 400 MHz to about 70 GHz
[107]	WP 5C	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1245-2 - Mathematical model of average and related radiation patterns for point-to-point fixed wireless system antennas for use in certain coordination studies and interference assessment in the frequency range from 1 GHz to 86 GHz
[108]	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1462-0 - Characteristics of and protection criteria for radars operating in the radiolocation service in the frequency range 420-450 MHz
[109]	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1849-1 - Technical and operational aspects of ground-based meteorological radars
[110]	WP 5B	Draft new Recommendation ITU-R M.[AMS_21.2-22 GHZ] - Technical characteristics and protection criteria for aeronautical mobile systems operating in the mobile service in the frequency range 21.2-22 GHz
[111]	WP 5A	Draft new Report ITU-R M.[RSTT.USAGE] - Current and future usage of railway radiocommunication systems between train and trackside (RSTT)
[112]	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.493-14 - Digital selective-calling system for use in the maritime mobile service
[113]	WP 5B	Draft revision of Recommendation ITU-R M.2010 - Characteristics of a digital system, named Navigational Data for broadcasting maritime safety and security related information from shore-to-ship in the 500 kHz band
[114]	WP 5B	Draft new Report ITU-R M.[NAVDAT-GUIDELINES] - NAVDAT Guidelines
[115]	WP 5C	Draft new Report ITU-R F.[HAPS-6 GHZ] - Sharing and compatibility studies of HAPS systems in the fixed service for the frequency band 6 440-6 520 MHz
[116]	WP 5C	Draft new Report ITU-R F.[HAPS-SPECTRUM-NEEDS] - Spectrum needs of high altitude platform stations (HAPS) broadband links operating in the fixed service
[117]	WP 5C	Draft new Report ITU-R F.[BROADBAND HAPS CHARACTERISTICS] - Deployment and technical characteristics of broadband high altitude platform stations in the fixed service in the frequency bands 6 440-6 520 MHz, 21.4 22.0 GHz, 24.25-27.5 GHz, 27.9-28.2 GHz, 31.0-31.3 GHz, 38.0 39.5 GHz, 47.2-47.5 GHz and 47.9-48.2 GHz used in sharing and compatibility studies
[118]	WP 5B	Draft new Report ITU-R M.[VDE-SAT] - Technical studies on the satellite component of the VHF data exchange system
[119]	WP 5B	Draft new Question ITU-R [FOD_COMPAT]/5 - Coexistence analysis between foreign object debris detection systems operating in the frequency range 92 to 100 GHz and earth exploration satellite service sensors in-band and in adjacent bands

文書番号	提出元	タイトル
[120]	WP 5A	Draft new Recommendation ITU-R M.[ITS_FRQ] - Harmonization of frequency bands for Intelligent Transport Systems in the mobile service
[121]	WP 5A	Draft new Report ITU-R M.[ITS_ARR] - Examples of arrangements for Intelligent Transport Systems deployments under the mobile service - Question ITU-R 205-5/5
[122]	WP 5A	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1890-0 - Operational radiocommunication objectives and requirements for advanced Intelligent Transport Systems (Question ITU-R 205-5/5)
[123]	WP 5A	Draft new Report ITU-R M.[ITS_USAGE] - Intelligent Transport Systems (ITS) usage in ITU Member States
[124]	Chairman, WP 5C	Executive Report from Working Party 5C
[125]	Chairman, WP 5A	Executive Report of the twentieth and twenty first meetings of Working Party 5A
[126]	WP 5B	Draft new Recommendation ITU-R M.[AMT-CHAR-5GHz] - Technical and operational characteristics for aeronautical mobile service systems limited to aircraft transmissions of aeronautical mobile telemetry for flight testing in the band 5 150-5 250 MHz in Region 1 and in Brazil in accordance with RR No. 5.446C
[127]	WP 5B	Draft new Report ITU-R M.[GADSS] - The global aeronautical distress and safety system
[128]	Chairman, WP 5B	Executive Report on the twenty-first and twenty-second meetings of Working Party 5B
[129]	BR Study Groups Department	List of documents issued (Documents 5/90 - 5/129)

図1 勧告文書の承認プロセス

